



平成 23 年 7 月 1 1 日 発行 第 5 5 号

第 1 9 回通常総会開催される

第 19 回通常総会は去る 5 月 28 日（木）に東京八丁堀の「日本フィッシング会館」にて開催されました。この総会では、第 19 期（平成 22 年度）の事業・収支計算書の実績報告及び第 20 期（平成 23 年度）事業計画・収支予算書の報告があり、提案通り承認されました。

平成 22 年度のフィッシングショーは、東日本大震災による余震や計画停電等もあり、来場者の安全を最優先に考え、やむなく中止となりました。その結果収支決算は大幅な赤字となり、平成 23 年度においては、特定資産を取り崩すことが提案され承認されました。

次期（平成 24～25 年度）の役員選考のために、役員選考委員会を立ち上げる事となり、5 名の委員が決定しました。

報告・承認事項では、「湖底・海底清掃事業に関する件」が報告され、清掃資金の一部を日釣工がプロの

ダイバーを使い独自の「湖底・海底清掃」を行うこと、及び、ワームの次にエギに取り組んで行くことが承認されました。次に「釣具市場活性化に関する件」が報告され、「日本全国 いつでも、何処でも、誰でも参加できる」Web 上の大会を積極的に活用して行くことが承認されました。この Web 上の大会の詳細につきましては、別途皆様にご案内申し上げます。

「新公益法人への移行に関する件」について、当初予定より若干遅れているが、平成 24 年 1 月に申請を行う計画であるとの報告があり承認されました。

「東北地方太平洋沖地震」に対して会員の皆様から 16,961,371 円の義援金が寄せられ、5 月 2 日に「社団法人日本釣用品工業会」名で、日本赤十字社に全額寄付した旨報告がありました。

以上を持って、第 19 回通常総会が無事終了した事をご報告いたします。



CONTENTS

- ・第 1 9 回通常総会開催される……………P1
- ・理事会及び各委員会活動のご報告……………P2
- ・平成 23 年度委員会組織・機構……………P3
- ・国際フィッシングショー2012
出展社募集始まる……………P4
- ・クールアングラーズ・アワード公開授賞式……………P5
- ・チャリティ・フィッシング・フェスティバル
開催ご案内……………P7
- ・会員クローズアップ……………P9
- ・釣具の輸出入推移表……………P10
- ・会員動向……………P11

＊ ＊ 理事会及び各委員会活動のご報告 ＊ ＊

去る、平成22年12月16日（木）に、日本フィッシング会館8階会議室において、「第97回理事会」が開催されましたのでご報告いたします。

*** 第1号議案「委員会活動の進捗状況に関する件」について**

各委員長より議事録に基づき報告されました。

① 「JAFF 委員会」

- ・装いも新たに「フィッシングフェスティバル」として開催される「国際フィッシングショー2011」の屋内外の企画の準備状況が報告されました。
- ・出展申込状況の報告があり、有償出展申込総数は前年を上回っているが、有償小間総数は前年を若干下回っている状況が報告されました。

② 「環境保全委員会」

- ・「認定・環境保全マーク事業（eマーク事業）」に関して、商品の認定基準の策定及び見直しを行っており、環境保護レベル及び新規認定基準策定については継続して検討を行っていくとの報告がありました。
- ・ワーム「環境協力シール」についてぜひ成功させたい旨説明があり、今後「釣用品全般への展開」に向けて検討していくとの報告があり、了承を得ました。

③ 「規格・安全委員会」

- ・JAFS 規格の規定審議についての進捗状況の報告があり、「釣糸部会」で検討されていまして「PE糸の太さ標準規格」が承認されました。
- ・安全関連につきましては、「膨張式ライフジャケット講習会」の大阪・横浜両会場開催に向けての準備状況の報告がありました。冊子「すきすきフィッシング」の改訂版が2010年12月中に発行される予定です。また、「安全表示のガイドライン」への追加について報告・承認されました。

④ 「広報・調査委員会」

- ・広報関連事業に関して「ロイヤルアングラマー賞」及び「JBFG」について進捗状況の報告があり承認されました。
- ・需要動向調査について掲載内容について報告がありました。

*** 第2号議案「ワーム環境協力シールの進捗の件」について**

シールの在庫・受注体制が完了したこと、ポスターを配布するので告知にご協力いただきたいこと、等の報告・説明があり承認されました。また、シールの受注が順調に進んでいるとの報告がありました。

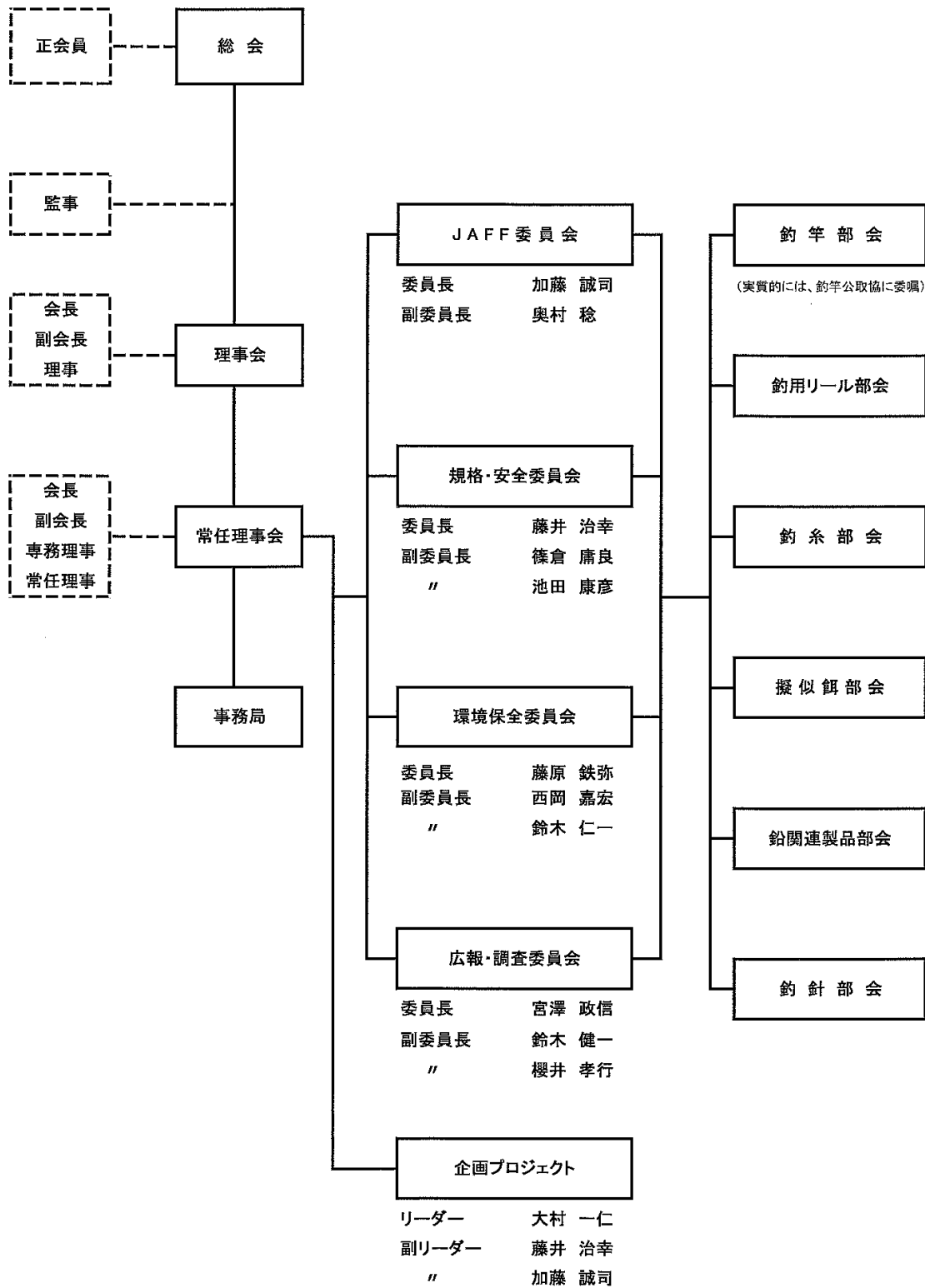
*** 第3号議案「入退会の件」は報告事項であり問題なく承認されました。***** 第4号議案「日釣工の新公益法人制度移行の件」について**

進捗状況報告と移行に必要な「日釣工の定款変更（案）」及び各新規規則案についての説明が行われ、了解されました。

*** 第5号議案「中間決算監査報告の件」は、中間決算の見通しについて報告があり、また、監査報告が行われ、了承されました。***** 第6号議案「その他の報告承認事項」は異議なく承認され、予定より若干早く理事会は無事終了しました。**

◆◆◆ 平成23年度 委員会組織・機構 ◆◆◆

平成23年度は、下記組織及び委員会活動を中心に活動して参りますので、よろしく
 お願いいたします。



『 国際フィッシングショー2012 』

出展社募集始まる！

Japan Fishing Festival～国際フィッシングショー2011～は、震災による停電、交通機関のトラブル、会場環境の低下などの理由で中止にいたりましたが、「釣り業界から日本復活へ！」そんな思いを込めて、明年2012年3月23日（金）より25日（日）までの3日間、横浜市みなとみらいのパシフィコ横浜にて開催予定の「Japan Fishing Festival～国際フィッシングショー2012～」は、いよいよ出展社の募集が始まりました。

JAFF委員会（加藤誠司委員長）では、初心者からコアな釣りファンまで様々な釣りファンに向けて実施するイベントプログラム等を検討協議致しております。

（1）開催概要

名 称	Japan Fishing Festival～国際フィッシングショー2012～		
主 催	社団法人 日本釣用品工業会		
後 援	経済産業省・神奈川県・横浜市・（財）日本釣振興会（いずれも予定）		
会 期	平成24年3月23日（金）	9:30～10:00	開会式
		10:00～18:00	一般公開
	24日（土）	9:00～18:00	一般公開
	25日（日）	9:00～17:00	一般公開
会 場	パシフィコ横浜（みなとみらい21、神奈川県横浜市）展示ホール		
出展規模	180社 800小間（予定）		
来場者数	60,000名（予定）		
入場料金	当日券 1,200円	前売券 1,000円	（中学生以下、無料）

（2）今後のスケジュール

平成23年 7月 1日（金）	出展申込の受付開始
平成23年 8月 31日（水）	出展申込の受付締切（予納金（半額）振込期限）
平成23年 10月 14日（金）	出展社説明会、小間割抽選会、個別相談会 エンパイヤビル会議室（東京・八丁堀）
平成23年 10月 31日（月）	残金振込期限

「第6回クールアングラーズ・アワード公開授賞式」
並びに「Angler's Idol 2011 最終公開審査」開催される！

さる2011年5月28日に、当工業会主催で横浜本牧海釣り公園で開催した「東日本大震災復興チャリティ釣り大会」において、フェスティバル中止に伴い実施出来なかったイベントで、人気絶好調の杉浦太陽さんに決定した「第6回クールアングラーズ・アワード公開授賞式」、及び釣り業界のアイドルを釣り人の皆様に決定して頂く「Angler's Idol 2011 最終公開審査オーディション」を実施致しましたのでご紹介いたします。

また、「第4回ロイヤルアングラーズ賞」及び「第5回釣りエコロジー標語」の各受賞者の方々も合わせてご紹介いたします。

クールアングラーズアワード、アングラーズアイドル受賞者のご紹介

上記釣り大会にて実施した「クールアングラーズ・アワード2011授賞式」の受賞者である、俳優の「杉浦太陽」さんにも選考委員としてご参加頂き、「アングラーズアイドル2011最終公開審査会」が開催され、アングラーズアイドル2011には、「ひなたさゆり」さんが選ばれました。

クールアングラーズ・アワード2011受賞者

杉浦 太陽 さん



テレビドラマなどを通じ人気を誇りつつも、その飾らない人柄と、マナーのよい釣りスタイルは、多くの釣り人の範とすべき存在であるとの理由で、受賞されました。

アングラーズアイドル2011受賞者

ひなた さゆり さん



「釣り」と「魚」に対するおもしろい愛情、そして太陽の輝きをもつ、底抜けの明るさは、釣り業界の未来を感じさせてくれる存在、との理由で選考されました。

**** 2011 ロイヤルアングラ賞 ****

社団法人日本釣用品工業会では、各界（政治・経済・文化・スポーツ・芸能・等）でご活躍されている方の中から、フィッシングに対して造詣が深く、フィッシングを趣味として愛好されている方、釣り及び釣り文化の発展に寄与されている方を、当会から感謝の気持ちを込めて任意に選定させていただき、該当者を「ロイヤルアングラ賞」として表彰しています。第4回を迎えた2011年 ロイヤルアングラ賞 受賞された方々をご紹介します。

- ・経済部門 伊東信一郎様 (全日本空輸(株)代表取締役)
- ・文化部門 宮田亮平様 (東京藝術大学学長)
- ・芸能部門 田中美佐子様 (俳優)
- ・芸能部門 哀川翔様 (俳優)
- ・スポーツ部門 片山晋呉様 (プロゴルファー)

**** 「アングラのためのエコロジー標語」 ****

<大賞>

「釣り人の 心を映す 澄んだ水」 神奈川県 遠藤様

<入賞>

「あなたですゴミを出すのも拾うのも」

群馬県 小林様

「守りたい釣り場のマナーよい環境」

埼玉県 松崎様

「釣り場所を我が家と思い清潔に」

東京都 柿澤様

「ごみ一つひろえば明日の釣果なり」

神奈川県 木村様

「さあ結ぼう自然と釣りを繋ぐライン」

神奈川県 小林様

「ありがとう自然に感謝し魚釣り」

山梨県 田中様

「美しき釣り場はみんなの宝物」

静岡県 川崎様

「思いやり人にも釣りにも自然にも」

兵庫県 村岡様

「環境を守ってこそその釣り名人」

鳥取県 川路様

●エコロジー標語受賞の喜び

山梨県 田中様

東日本大震災の影響により(社)日本釣用品工業会も大変な折、すでに中止決定がなされていた国際フィッシングショー2011の「アングラのためのエコロジー標語」入賞の表彰をしていただき、おりました。震災前にインターネットで入賞者が発表され、その入賞10作品の中に自分の応募した作品を見つけた時には大変驚きました。「入賞作品は屋内会場において『テーマ展示』の形で、ステージ周辺に掲示させていただきます。」とあり、毎年出掛けるフィッシングショーも今年は一味違った楽しみができた喜び、その開催を待ち望んでいました。しかし、巨大地震発生に伴いフィッシングショーは中止の決定がなされ、その思いは幻と化し、表彰はないものと思っていました。そんな折届いた賞には、本当に感激しました。フィッシングショー中止は、準備でご苦労された企業・団体・関係者の方々にとっては大変なことで、その影響は図り知れないものになったと思いますが、震災直後でその災害の状況から止むを得ない措置であったと思います。

被災地の一日も早い復旧そして復興が進み、釣り好きの皆さんが今までどおり釣りが出来るようになり、来年には「国際フィッシングショー2012」が開催され、大好きな釣りが益々盛り上がっていくことを祈念致します。本当にありがとうございました。

チャリティー・フィッシング・フェスティバル開催ご案内

東北地方を中心に史上まれに見る災害に遭遇した東日本全域。私たち社団法人日本釣用品工業会においても、会員企業様はもちろん、多くの釣業界関係者が深刻なダメージを受けています。

J A F F委員会（加藤誠司委員長）では、釣り場環境の復興はもとより、直接的に被害を受けられた方々に、何らかの形での支援ができないか検討を重ねて参りました結果、山梨県都留市のフィッシュ・オン鹿留においてイベントを開催することとなりました。

仲間や家族とともに自然と戯れることの楽しさや醍醐味を釣りを通して感じて頂きながら、災害復興および支援に役立てていきたいと考えております。

フィッシュ・オン鹿留のキャンプ場をメイン会場とし、各社テントによる出展（テント村）、ステージでの催し物の開催。主催者（日釣工）は、各社のマネジメントおよびステージイベント、セミナーイベントを運営し、参加企業は各社独自の来場者サービスで盛り上げてまいりたいと考えております。ぜひご参加ください。

開催概要

- 主 催 : 社団法人日本釣用品工業会
- 協 力 : フィッシュ・オン鹿留
- 後 援 : 財団法人日本釣振興会
- 開催日時 : 7月31日（日） 7:00～15:00
- 開催場所 : フィッシュ・オン鹿留（山梨県都留市鹿留 1543）
TEL0554-43-0082 fax 0554-43-0084
- 入 場 : 無料（釣りをする場合は釣り券購入）
- 来場者数 : 1,000名（見込）
- 出展条件 : 無料（※出展お申込みの締切 7月8日（金）必着）

開催内容

- ① 企業出展（メーカー、出版社等メディア関連）
野外テント等による商品展示やブース内でのミニセミナーの開催。
- ② チャリティーオークション
著名人の方の釣り道具のオークション。全額が義援金として寄付されます。
- ③ 有名人デモンストレーション
池および川においてデモンストレーションを行います。

④ スクール（親子のための釣り教室）

6月に開設したイベントのホームページ上で事前募集した午前・午後合わせて10組の方々の釣り教室を開催致します。

⑤ 釣りガール コーナー&ファッションショー

特設テントにおいて、『釣りガールコーナー』を設置致します。多くの出展社様のご参加をお待ち申し上げております。（出展申込書に記載）

⑥ 女子キャンプサイト

魚を釣るだけが釣りの楽しみじゃない！キャンプ大好きな女性たちが水辺でアウトドアや釣りを楽しみながらイベントを華やかに演出します！

⑦ 釣り大会

出展メーカーの豪華な賞品が当たる盛大な釣り大会！ぜひご参加ください。





第9回目となる今回は、当工業会の常任理事並びに今年度より JAFF 委員会副委員長も務めている株式会社ヤマリアの奥村社長をお訪ねしました。

本社：神奈川県横須賀市神明町1-4-1 TEL 046-854-7733
URL：http://www.yamaria.co.jp/

会社の沿革・概要

当社は主にイカ関連商品(ヤマシタ)とルアー関連商品(マリア)の企画・開発・製造・販売を行っています。創業は、1941年(昭和16年)に「山下釣具店」を設立し、釣具漁具の製造販売を行いました。

当初は塩化ビニール製の疑似餌「ゴールドンベイト」開発販売から始まりイカ関連、ルアー関連の商品を販売し業務拡張により1992年には中国大連市に合作会社「大連山下」を設立し、1996年には合作を解除し独資会社「山下釣具大連」を立ち上げ、日本国内においても工場が手狭になり本社・企画・開発部門を2005年に横浜市に「ヤマリアビル」を建てて移動し、2008年には「横須賀久里浜テクノパーク」に「本社・横須賀工場」を竣工し三浦工場から移転して今に至っております。



会社のトピックス

当社は、営業・企画・開発・製造・生産技術・システム部門・YY保育園を持ち、企画から販売まで一貫しており、販売・生産システムも自社で開発しています。

福利厚生についても、本社・工場内に200㎡の保育園を持っており社員の子供のみ格安で預かっており社員からは喜ばれております。

中国工場においては、日本の工場で作られた部品の組立のみ行うようにしており、国内の横須賀工場においては、部品の製造とルアープラグの製造を行っており最終組立まで国内で行い「MADE IN JAPAN」にこだわっています。

2008年には、当社のシステム開発が認められ経済産業省「中小企業IT経営力大賞」の優秀賞「日本商工会議所会頭賞」を受賞することが出来ました。

社長の一言

私ども社員一同は、お客様に夢のある「新しい釣りの提案」が出来るように日々商品企画と開発に力を注ぎ、商品を販売するだけでなく釣り場開拓、釣り方等の釣教室を行い新しい釣りを広めつつ、アオリコミュニティ(産卵礁)を全国に広め、アオリイカを増やす活動にも力を注いでいきます。

また、当社は「家業から企業へ」を合言葉に、2011年には国際基準であるISO9001:2008認証を取得し企業として第一歩を踏み出し、これからもお客様に喜ばれる企業を目指します。

釣具の輸出入推移表(財務省通関統計より)

輸出高(金額 FOB、千円)

年 (暦 年)		2008 (平成20年)				2009 (平成21年)				2010 (平成22年)			
品 目 名	数量単位	数 量	伸び率	金 額	伸び率	数 量	伸び率	金 額	伸び率	数 量	伸び率	金 額	伸び率
釣 竿	pcs	11,502,525	▲20.4%	3,832,024	▲5.7%	7,221,090	▲37.2%	2,899,747	▲24.3%	9,035,564	25.1%	3,510,778	21.1%
釣 針	千 GS	12,829	23.6%	3,972,862	4.3%	11,703	▲8.8%	4,163,398	4.8%	11,890	1.6%	4,383,674	5.3%
擬餌針	GS	307,647	▲39.3%	2,456,190	▲2.7%	173,007	▲43.8%	889,587	▲23.1%	183,094	5.8%	2,157,170	14.2%
釣用リール	pcs	13,601,202	32.0%	7,538,087	▲12.8%	6,479,084	▲52.4%	4,954,864	▲34.3%	5,208,807	▲19.6%	5,712,614	15.3%
その他 (たも網、捕虫網、および狩猟用具類)	—	—	—	4,632,124	▲12.6%	—	—	3,871,087	▲16.4%	—	—	3,895,435	0.6%
輸 出 高		—	—	22,431,287	▲7.8%	—	—	17,778,683	▲20.7%	—	—	19,659,671	10.6%

輸入高(金額 CIF、千円)

年 (暦 年)		2008 (平成20年)				2009 (平成21年)				2010 (平成22年)			
品 目 名	数量単位	数 量	伸び率	金 額	伸び率	数 量	伸び率	金 額	伸び率	数 量	伸び率	金 額	伸び率
釣 竿(部品を含む。)	pcs	4,967,217	▲5.2%	11,571,679	▲7.3%	5,139,826	3.5%	10,318,852	▲10.8%	5,415,753	5.4%	10,838,941	5.0%
釣 針	千 GS	45,928	135.2%	2,889,676	10.9%	58,144	26.6%	2,943,064	1.8%	85,308	46.7%	2,112,262	▲28.2%
釣用リール	pcs	5,485,400	3.5%	5,871,717	▲3.2%	5,054,938	▲7.8%	5,041,657	▲14.1%	5,151,928	1.9%	4,832,031	▲4.2%
その他のもの	—	—	—	7,711,497	▲0.4%	—	—	8,274,006	7.3%	—	—	8,166,056	▲1.3%
輸 入 高		—	—	28,044,569	▲2.9%	—	—	26,577,579	▲5.2%	—	—	25,949,290	▲2.4%

会 員 動 向

- ◆当工業会元顧問でありました 井上喜一様（元国務大臣・衆議院議員）が平成22年12月16日にご逝去されました。（享年78歳）ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- ◆当工業会元理事でありました 株式会社デュエル創業者 北川安洋様が平成23年4月2日にご逝去されました。（享年79歳）ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- ◆当工業会元会長でありました株式会社がまかつ代表取締役会長 藤井繁克様が平成23年6月17日にご逝去されました。（享年86歳）ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
 なお、お別れの会が下記のとおり執り行われます。
 日時：平成23年7月20日（水） 11時30分より
 場所：リーガロイヤルホテル タワーウイング3階 「光琳の間」
 大阪市北区中之島5-3-68 TEL 06-6448-1121
- ◆当工業会元常任理事でありましたマルキュー株式会社前代表取締役（現相談役）中村和敏様が平成23年6月25日にご逝去されました。（享年80歳）ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
 なお、お別れの会が下記のとおり執り行われます。
 日時：平成23年8月3日（水） 11時30分より
 場所：パレスホテル大宮 4階 ローズルーム
 さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL 048-647-3300

※第97回、第98回、第99回理事会で次のとおり退会5社が承認されました

退会会員

（第97回理事会）

- ◆コールマンジャパン(株)
 代表者 リチャード・エル・ギルフォイル
 〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2 茅場町タワー
 TEL03-5542-8351 Fax03-5542-8352
- ◆陸中アイテム(株)／代表者 内舘 英一
 〒027-0053 岩手県宮古市長町 1-4-8
 TEL0193-65-6016 Fax0193-65-6016

（第98回理事会）

- ◆パナソニック(株)エナジー社／代表者 和田 祐二
 〒570-8511 大阪府守口市松下町 1-1
 TEL06-6994-4397 Fax06-6994-5721

（第99回理事会）

- ◆(株)ウキウキ／代表者 鶴山和洋
 〒155-0031 東京都世田谷区北沢 5-3-12
 TEL03-6750-5666 Fax03-6750-5666
- ◆大松釣具／代表者 三好 仁
 〒598-0006 大阪府泉佐野市市場西 1-14-30
 TEL072-424-8910 Fax072-462-9129

※会員企業新代表者就任のお知らせ

- ◆(株)ワイズギア 代表取締役社長に 佐藤正純氏が就任されました。
- ◆(株)ティムコ 代表取締役社長に 酒井誠一氏が就任されました。
- ◆ピュア・フィッシングジャパン(株) 代表取締役に 林 健児氏が就任されました。
- ◆東亜ストリング(株) 代表取締役社長に 谷 晋也氏が就任されました。

※移転のお知らせ

- ◆山田電器工業(株)は下記へ移転しました。
 〒571-0045 大阪府門真市殿島町 1-3 理工ビル TEL06-6780-2946 Fax06-6780-2950

「東北地方太平洋沖地震」義援金ご協力のお礼

この度は東北地方太平洋沖地震に対して会員の皆様に義援金をつのりましたところ、快くご協力いただき、誠にありがとうございました。

お陰様で、会員の皆様をはじめ、釣竿製造組合、販売店、個人の方々等多くの皆様から、16,961,371円の義援金が寄せられました。

短期間にも拘らずこれだけ多くの義援金が集まったのは、この震災を自分のこととして心を痛め、少しでも支援したいというお気持ちの結果ではないかと思えます。

皆様の心のこもった義援金は、5月2日（月）に「社団法人 日本釣用品工業会」名で、日本赤十字社に全額寄付いたしました。1日でも早く被災地に届き、復旧に役立つことを念じております。ご報告かたがたお礼申し上げます。

☆☆☆☆☆☆ 事務局 だ よ り ☆☆☆☆☆☆

◇「ワーム環境対策協力シール」を貼付した商品が、本年1月1日からのメーカー出荷分からスタートしました。集められた清掃資金を使った「湖底・海底清掃」がいよいよスタートします。

◇「湖底・海底清掃」につきましては、今後実施状況を日釣工ホームページ上でお知らせしていきます。

◇「ワームの次」として「エギ環境対策検討会議」を立ち上げ、来年のスタートを目指して取組んでまいります。ご協力をお願いいたします。

◇東日本大震災から早4ヶ月が過ぎましたが、放射能汚染への懸念から、海から釣り人が遠のいており、自粛ムードと相まって釣具市場は厳しい状況が続いております。

◇このような沈滞ムードを打破して釣具市場を活性化しようと、Web上の大会「アングラーズチャンス」を積極的に活用して行きますので、ご協力をお願いいたします。

◇日釣工の事務局に、6月から新人が入ってきました。「天野(あまの) 泰男(やすお)」と言います。今後ともよろしく願いいたします。

◇今年の夏も暑くなりそうですが、当工業会では節電のため、1階ロビー・事務所・会議室の蛍光灯を間引いております。またエアコンの温度も調整しております。ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

JAFTMA
 JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION
 社団法人 日本釣用品工業会
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館
 TEL 03(3555)0101(代表) FAX 03(5542)2929